

ENNESTE TEMARI BOOK

1st edition - February 2023

<https://enneste.com>

ENNESTE TEMARI BOOK

1st edition - February 2023

<https://enneste.com>

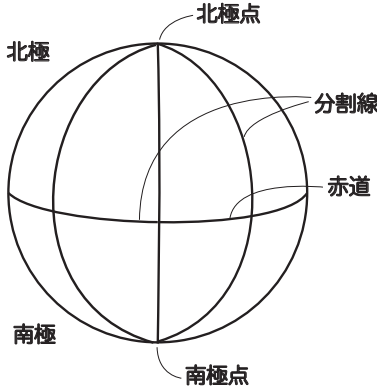
© 2023 ENNYASTE LTD.

初見で難しそうと思われがちな手まりを多くの人に
広めたくて、このテキストを無料公開しています。
商用利用の方は、有料にてご利用いただけます。
workshop@enneste.com までご連絡ください。

このテキストが役に立ったな、ENNESTE を応援したいな
と思った方は以下をクリックしてください。
投げ銭は、株式会社 ENNYASTE を通じて手まりを広げる活動に使われます。

THANKS!

手まりの各名称



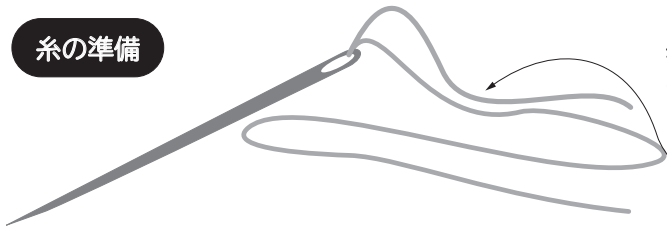
手まりは地球に例えられ、各箇所を「北極」、「南極」、「赤道」と呼びます。



作っている間は、北極点にまち針を刺しておく、上下の向きが分かりやすく、便利です。

手まりに入れるグリッド線は、分割線（地割線）。分割線を規則的に繋いでいくと、幾何学模様が出来上がります。

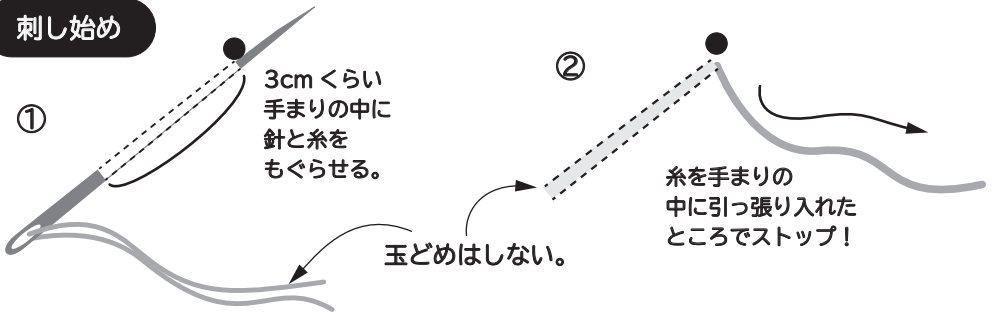
糸の準備



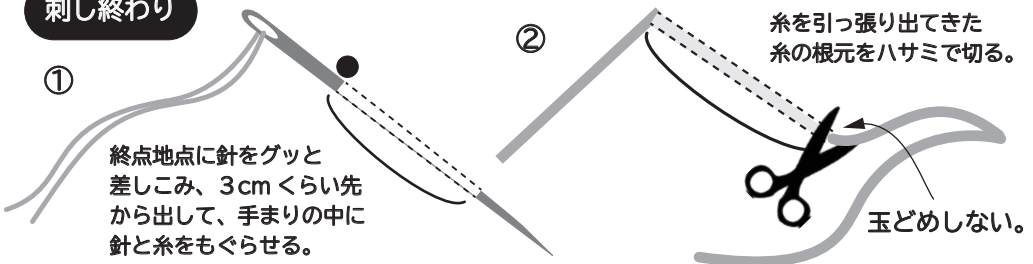
糸は長さ 130cm くらい。
2 本どりにする場合は、
130cm を 2 本使います。

長めに折り返しておく、
糸が絡みにくくなります。

刺し始め



刺し終わり



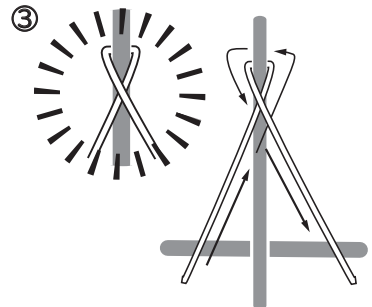
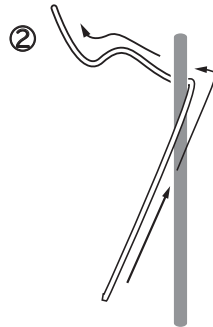
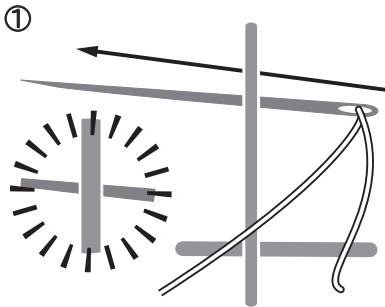
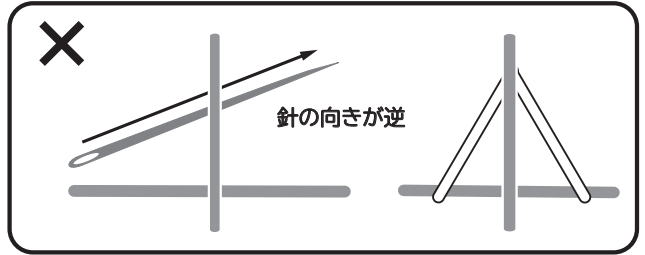
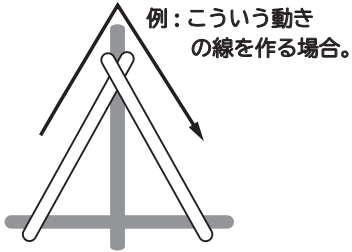
針の刺し方

ルール①

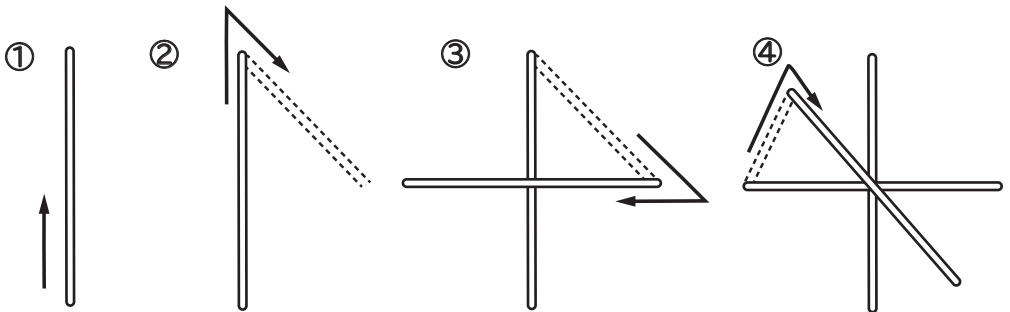
分割線と土台手まりを、まつり縫いの要領で分割線+手まりをすくい縫っていく。

ルール②

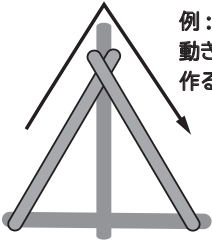
糸の進行方向を確認したら、それとは逆向きに針を刺す。その後、糸を進行方向に向かって折り返す。



少し離れた場所から糸を出す場合。

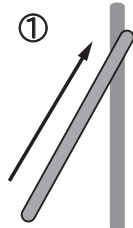


糸が足りなくなったら



例：こういう動きの線を作る場合。

糸の継ぎ足しは交点か地割線の上で。

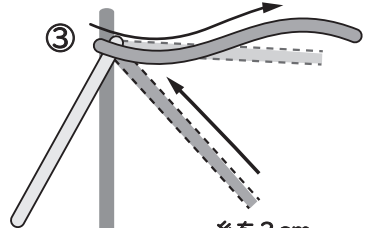


①



②

糸を模様の後から3cm離れた所から出す。



③

糸を3cm離れた所から新しい糸を入れる。

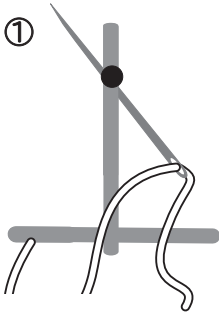
TIP!

スマートな刺し方

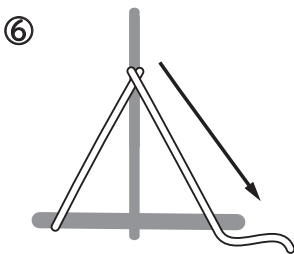
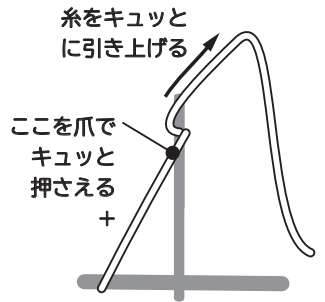
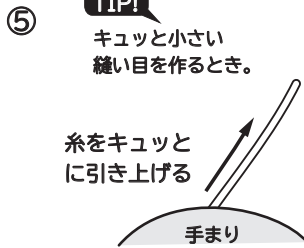
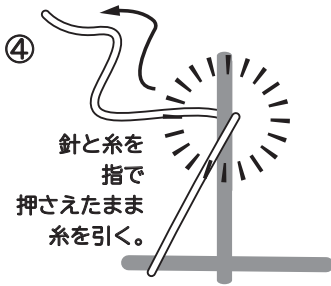
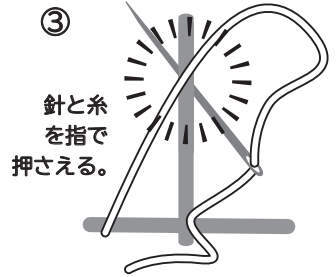
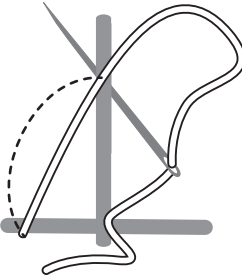
ENNESTE

糸が絡みにくい、作りたい形の線をつくりやすい、糸のネジレが気になる時の対処方法など、使えるかもしれない縫い方の紹介。

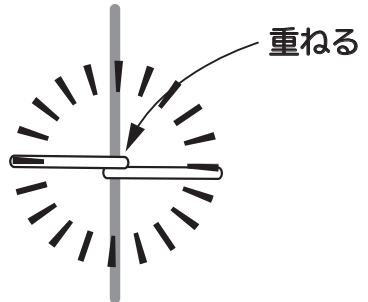
「縫う」を4ステップで
針を刺す⇒押さえる⇒引く⇒折り返す



②
気になったらこのタイミングで、糸のネジレを取る。+カーブや直線など、好みの形で糸を置く。



TIP!
隙間を作らないコツ

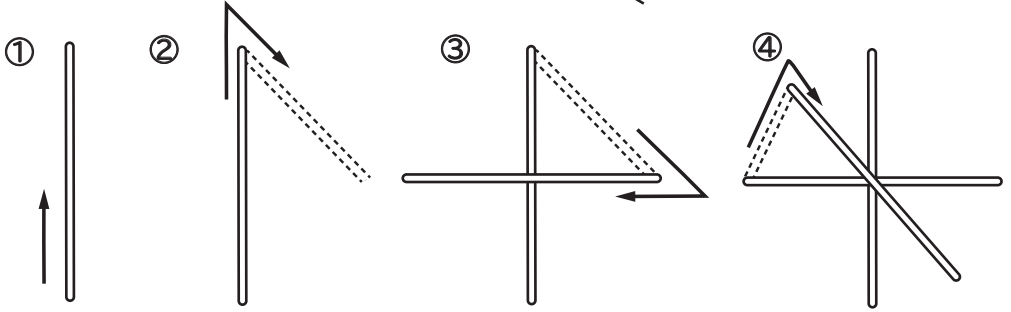


手まりの模様#1

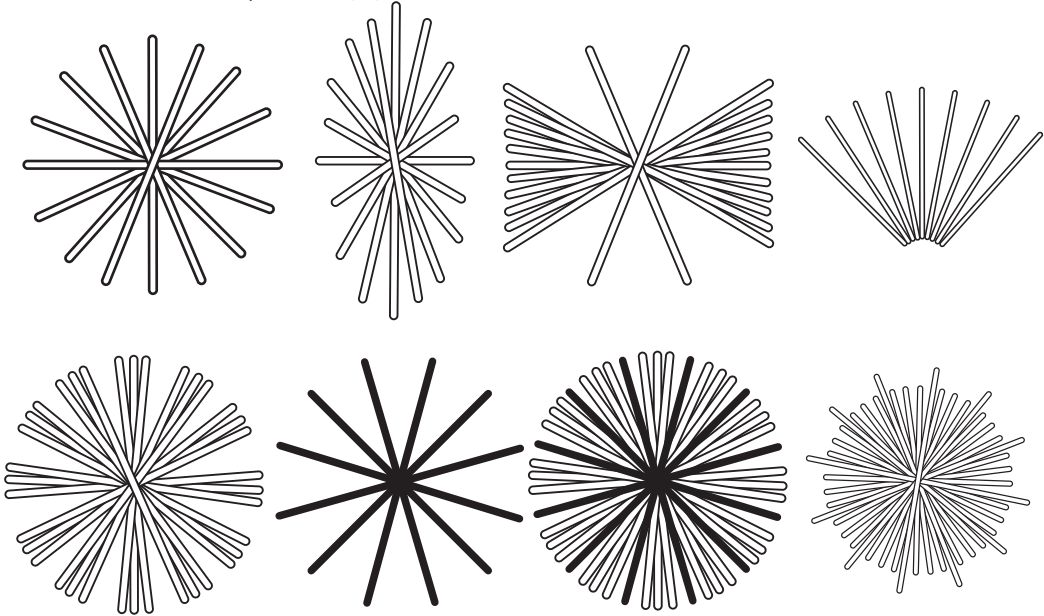
松葉かがり

始めりと終わりは、シート2を参照。

十字に縫っていくと
バランスが取りやすいです。

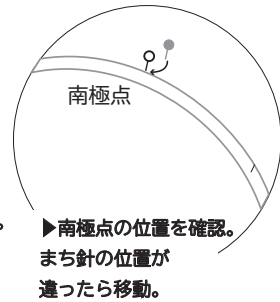
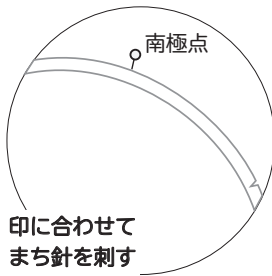
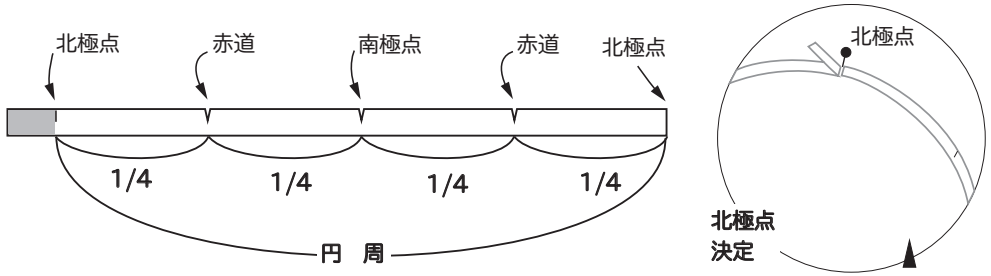


組合せ方、糸の種類、糸の本数をかえたり工夫すると
バリエーションが楽しめます。



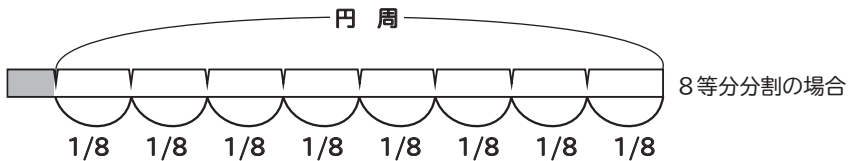
単純地割

【北極点⇨南極点⇨赤道をつくる】



南極点の場所が動かなくなるまで③④を繰り返す

【赤道を分割する】

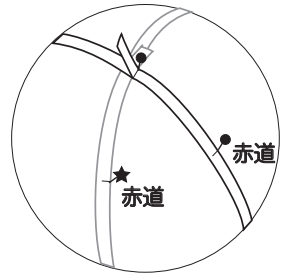
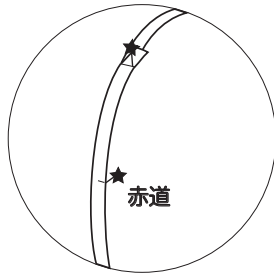


応用：10等分の時は、赤道を10等分にする。

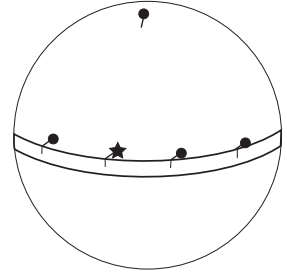
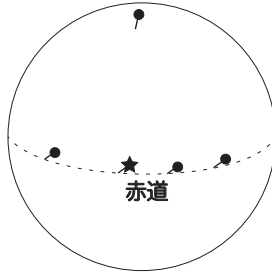
単純地割

【赤道を分割する】

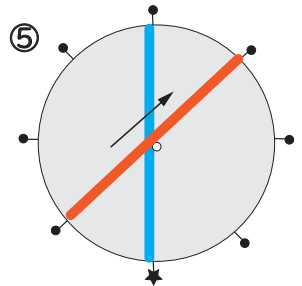
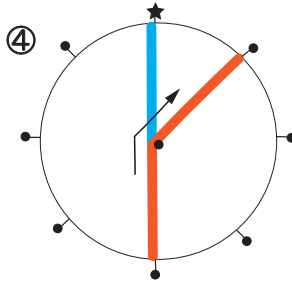
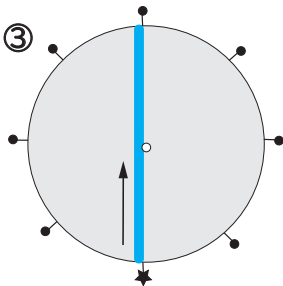
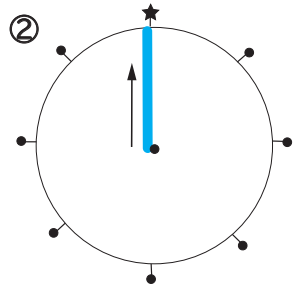
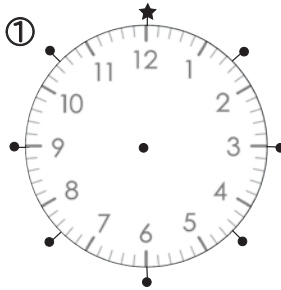
1. 赤道に分割数の
まち針をランダム
に配置する。



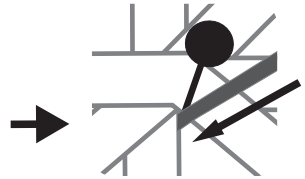
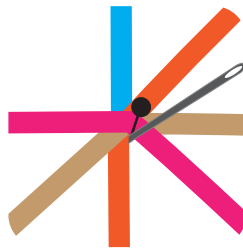
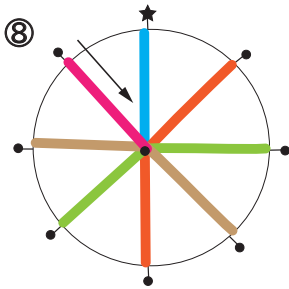
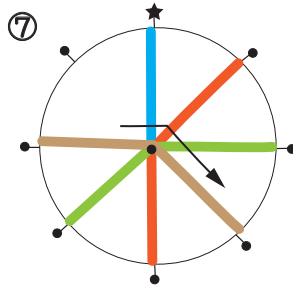
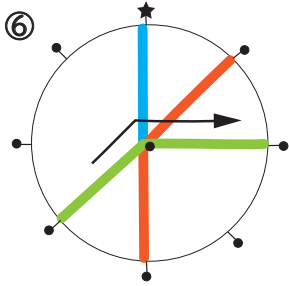
2. 赤道に紙テープを
巻きつけ、テープの
印にまち針を合わせる。
テープは指でなく、
まち針で押さえると楽！



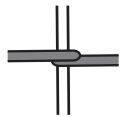
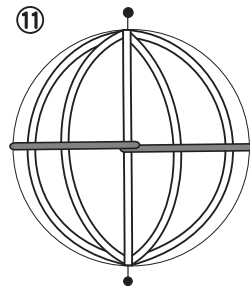
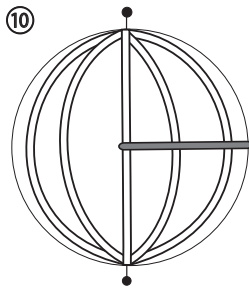
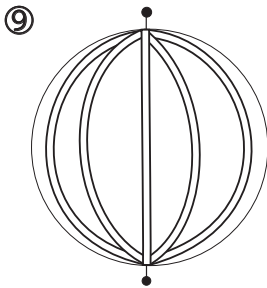
3. 実際に、分割線
作っていく。



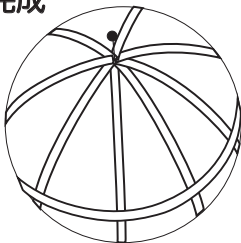
単純地割



最後、まち針の刺さっている穴に針を刺して分割を留める。

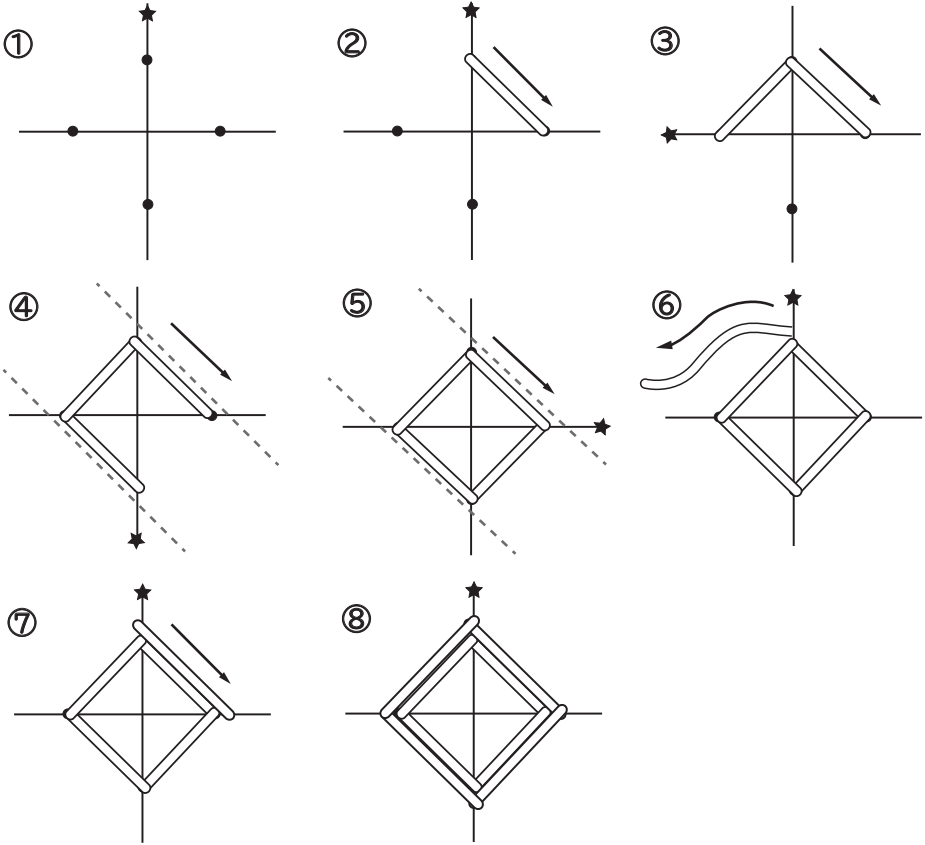


完成

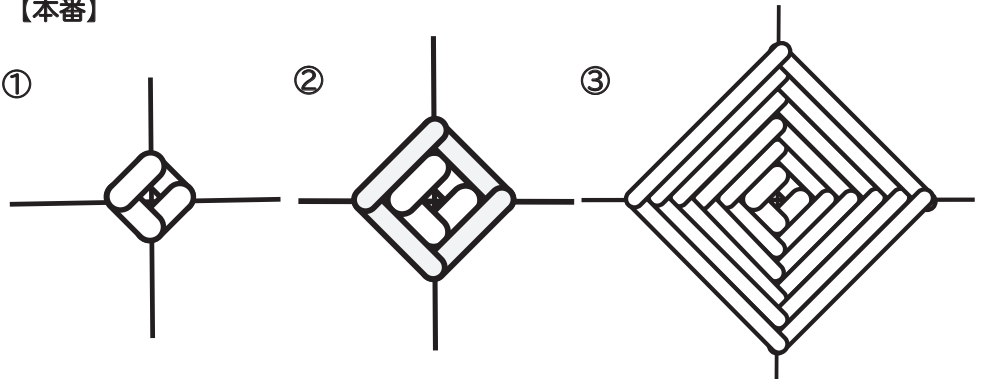


升(ます)かがり

【まずは、練習】

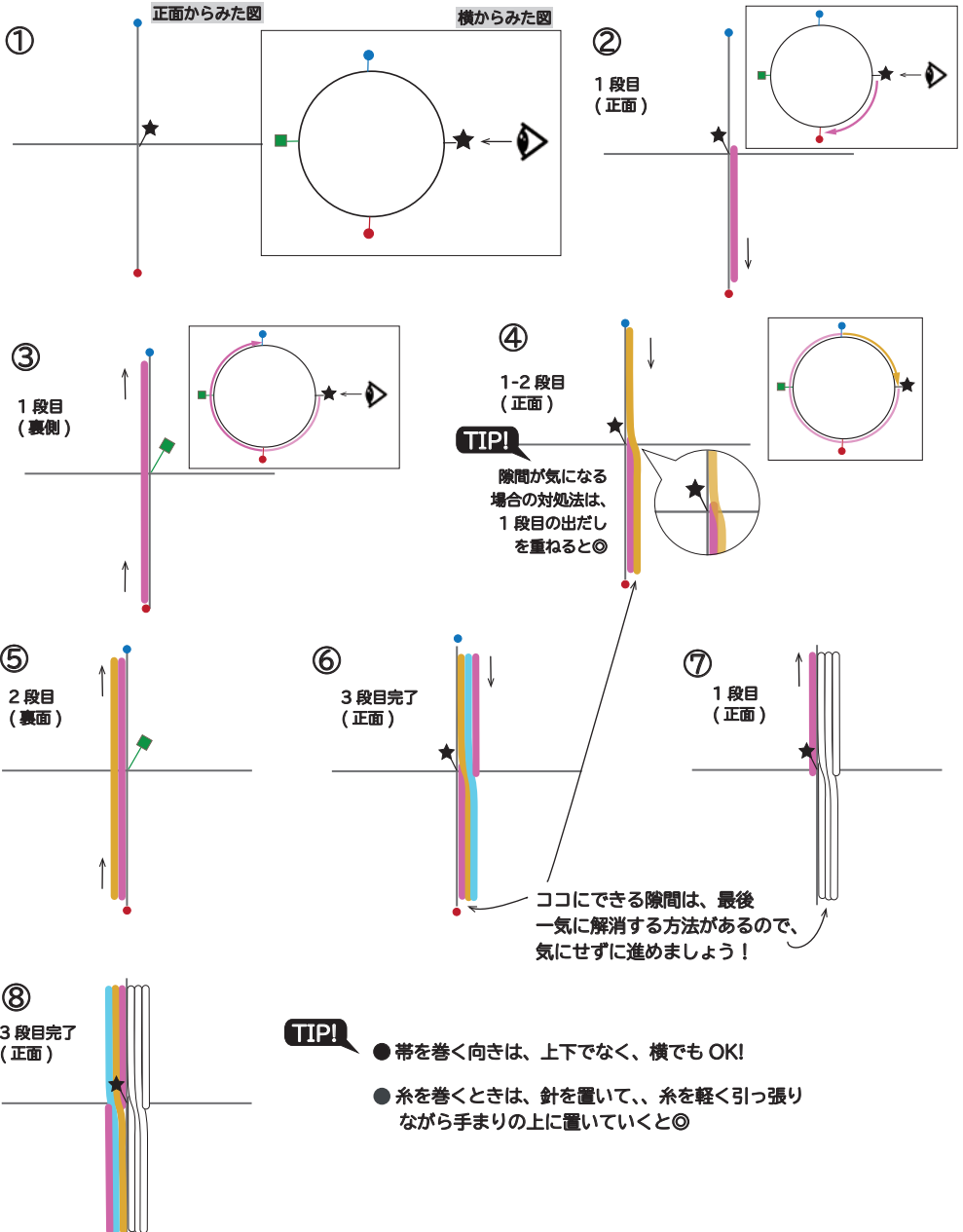


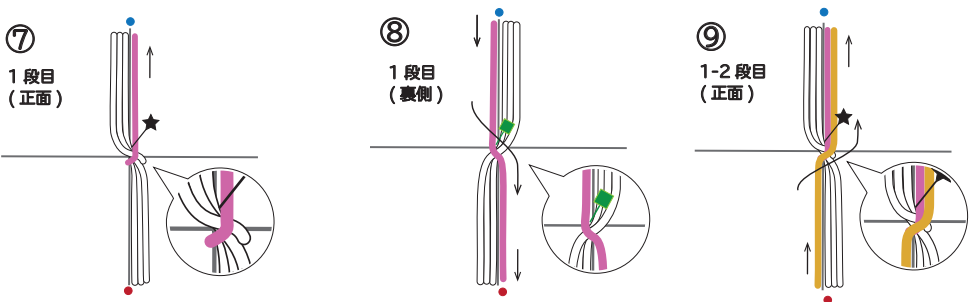
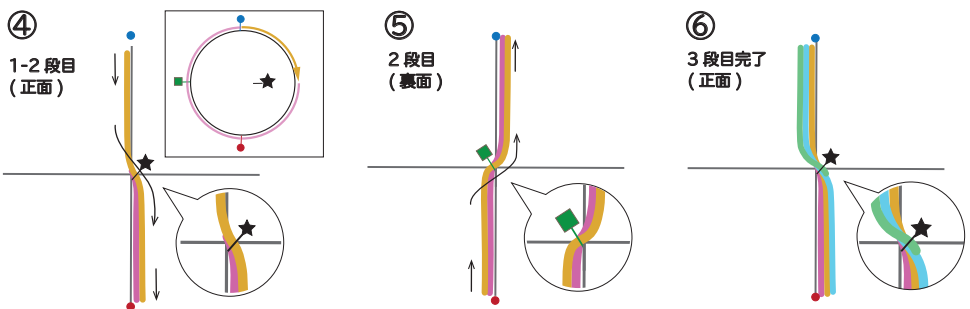
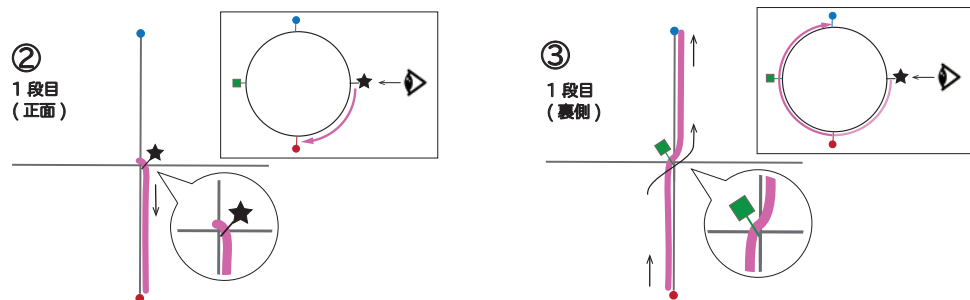
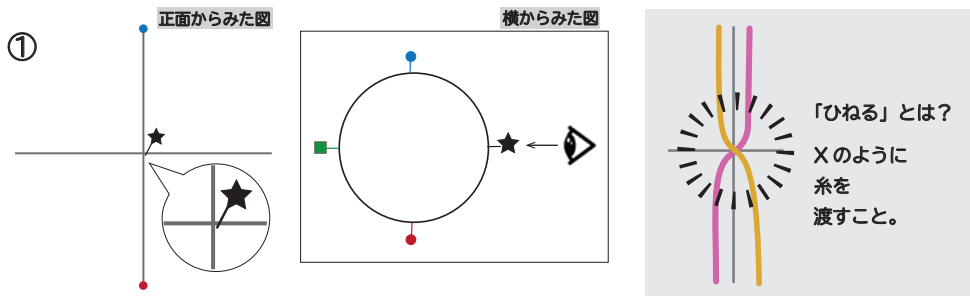
【本番】



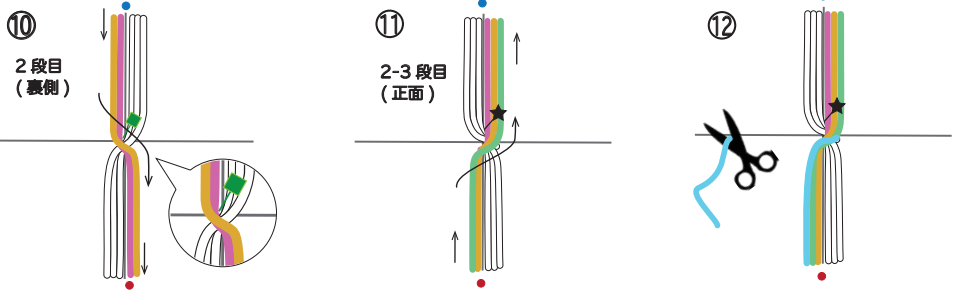
巻きかがり

【基本は、分割線に沿って中心から】





ひねり巻き

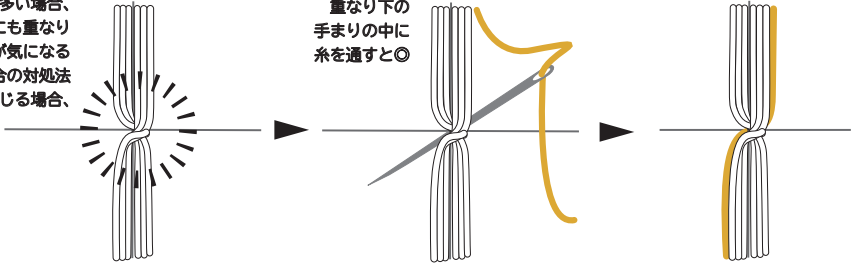


TIP!

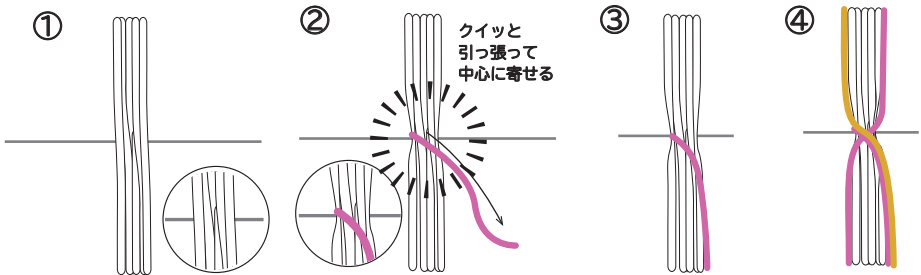
【段数が多い場合】

段数が多い場合、
中心が何重にも重なり
盛り上がり気になる
場合の対処法
過ぎると感じる場合、

重なり下の
手まりの中に
糸を通すと◎

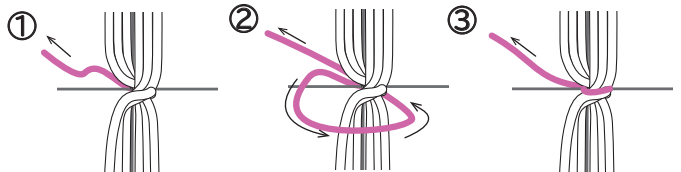


【途中から「ひねる」場合】



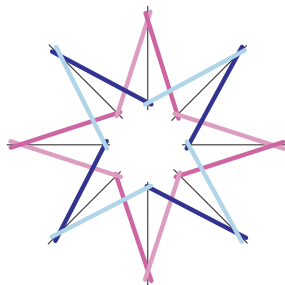
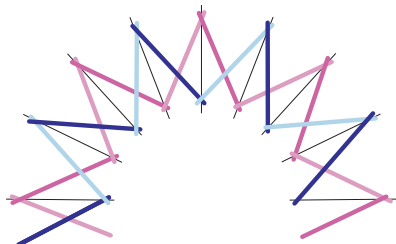
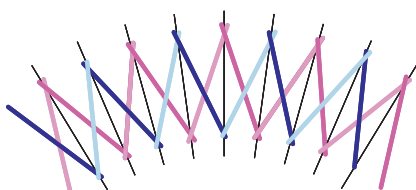
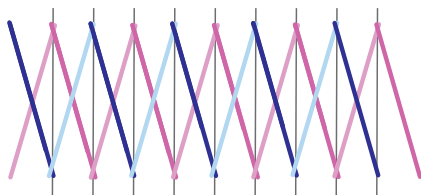
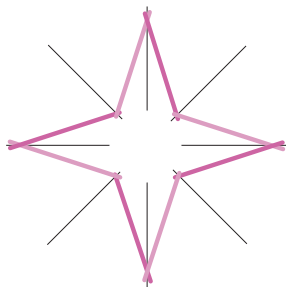
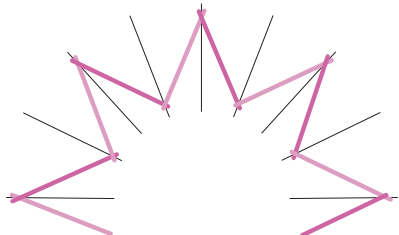
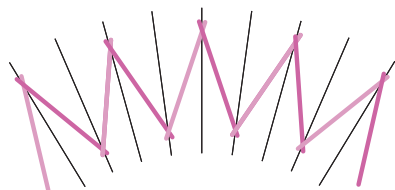
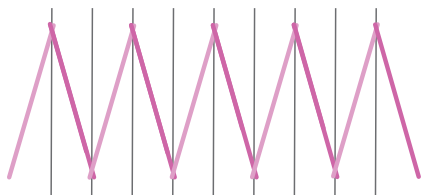
手まりの技術#6
くくり結び

①-③を好みの太さ
になるまで繰り返す。



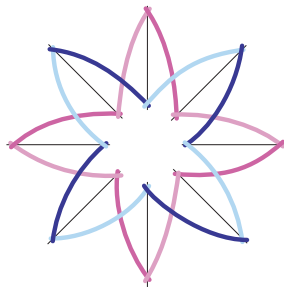
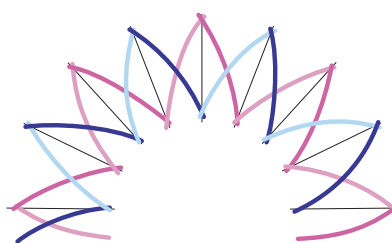
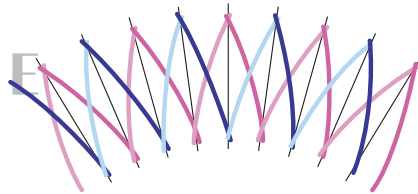
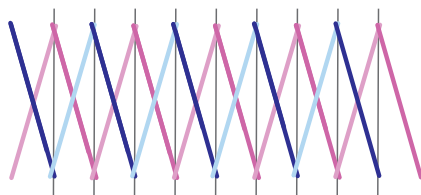
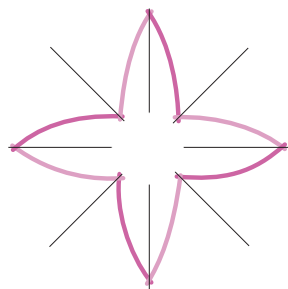
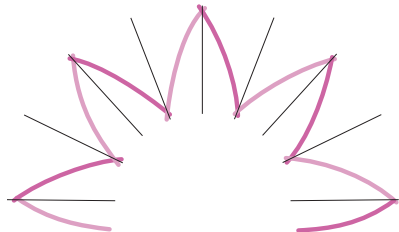
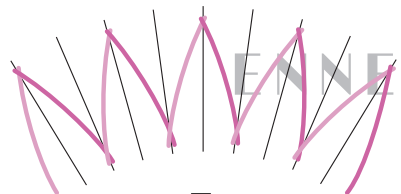
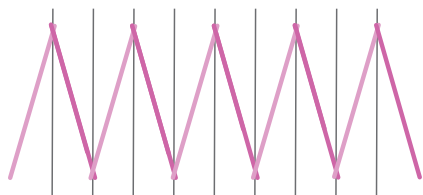
ジグザクかがり

【直線編】 軸（分割線や補助線 etc.）が変わると模様が変わる。



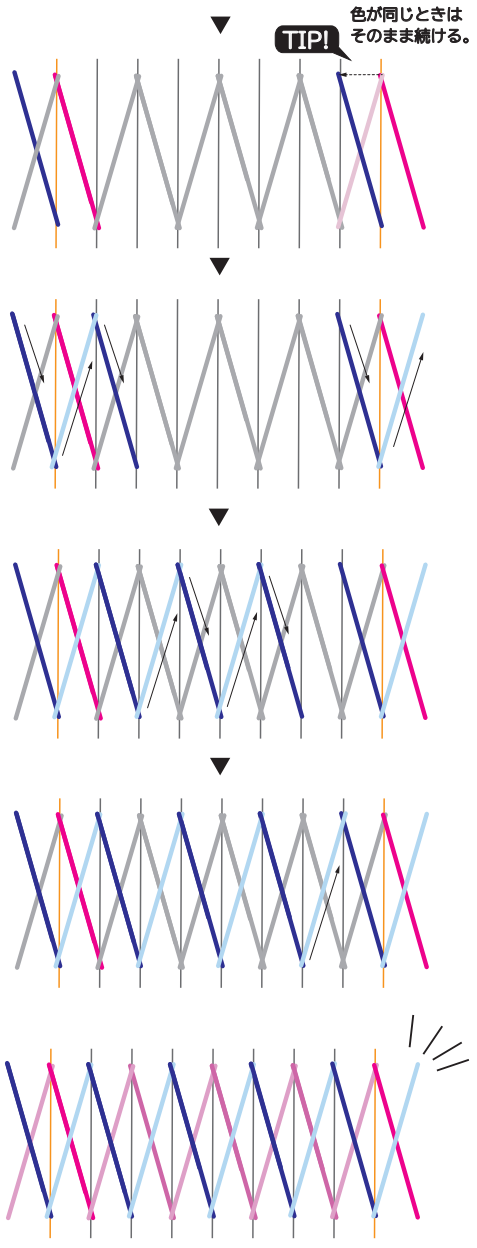
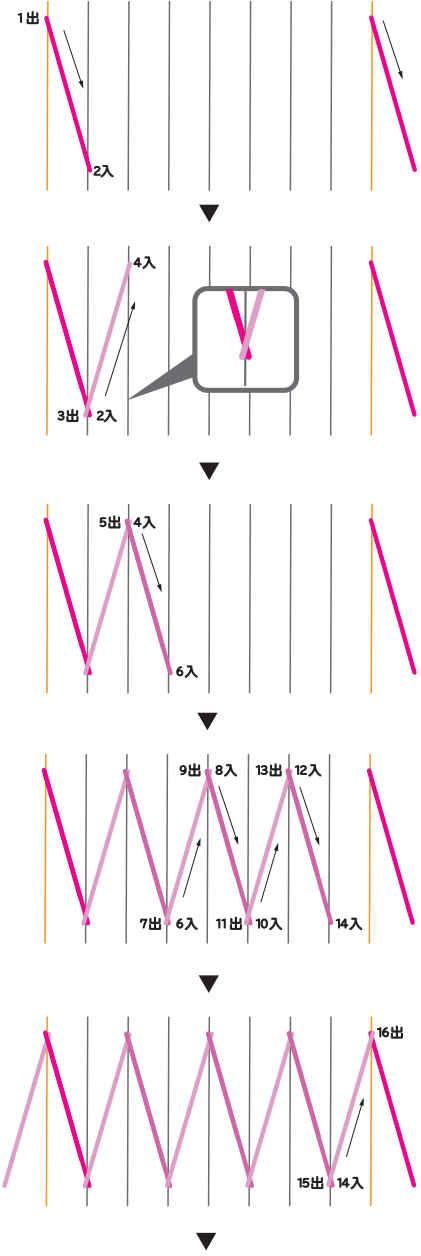
ジグザクかがり

【曲線編】直線を曲線に変えると、模様が変わる。



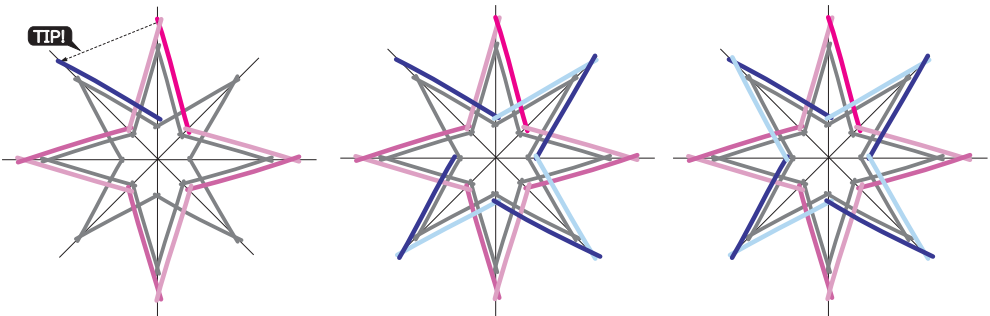
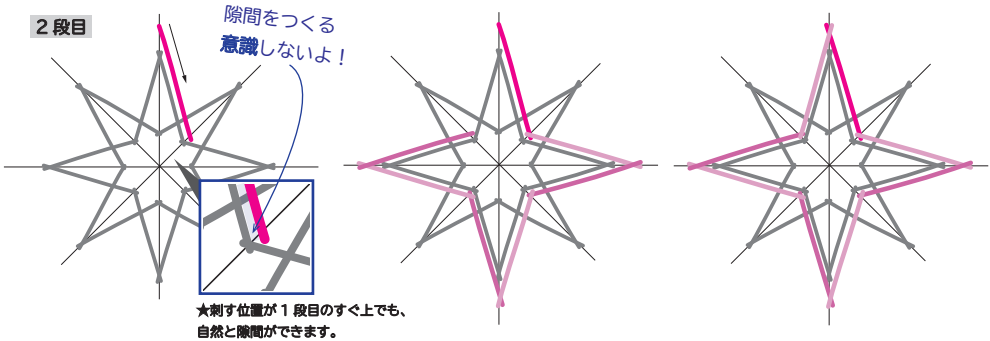
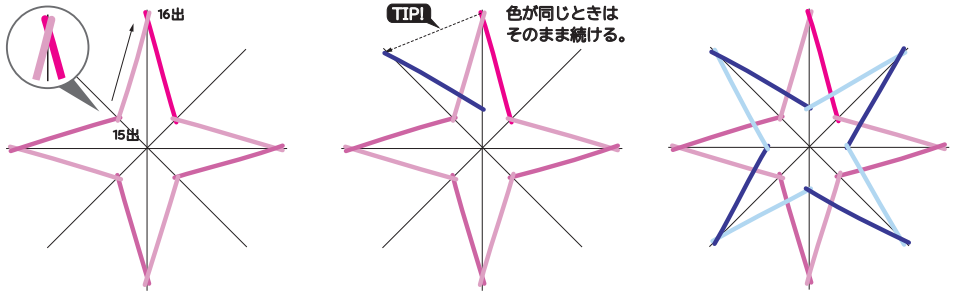
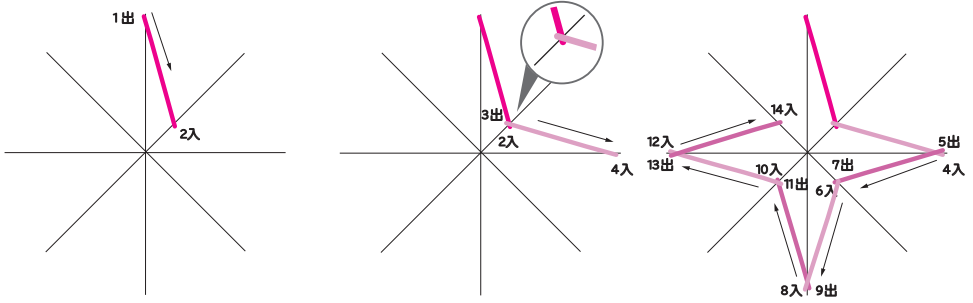
ジグザクかがり

【千鳥かがり】帯の上でジグザグする。



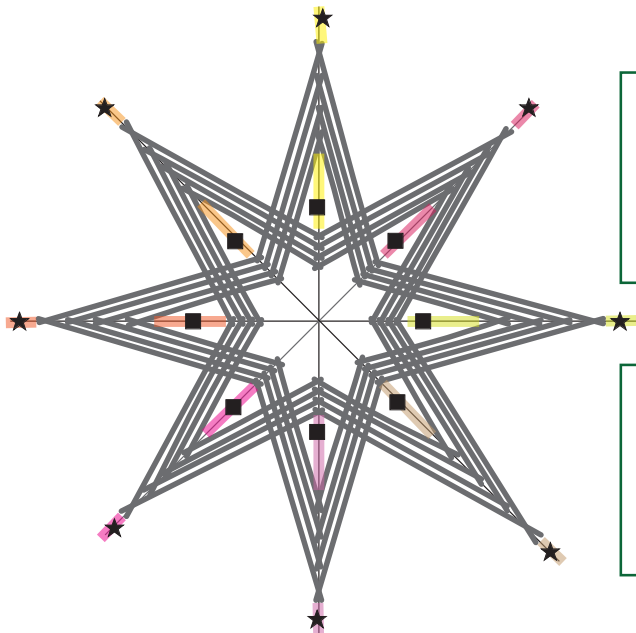
ジグザクかがり

【下掛け千鳥】 分割線に沿ってジグザクの段を重ねていく。



ジグザクかがり

【下掛け千鳥】ポイント

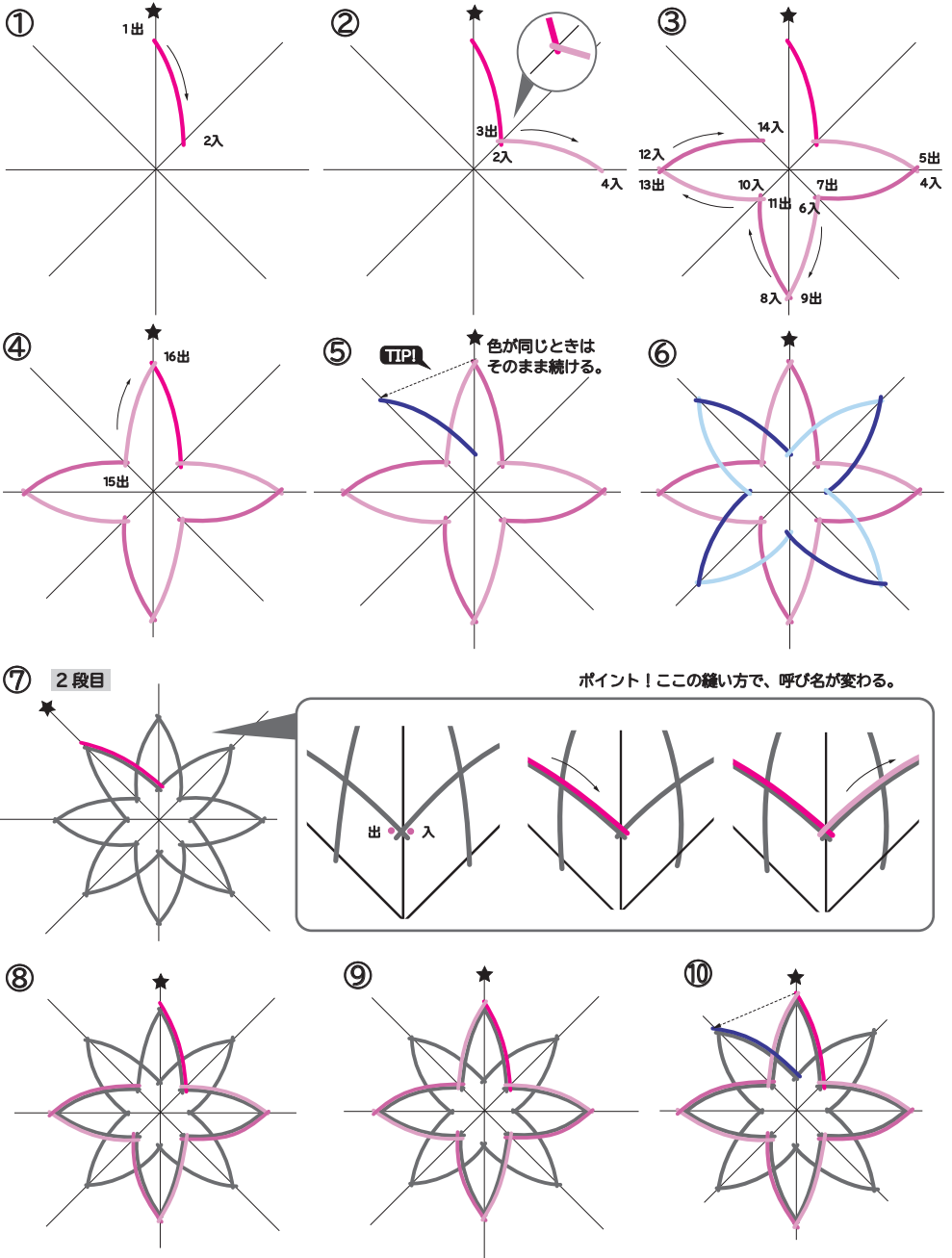


1. 段と段の間には、自然と「すきま」
ができるのが、下掛け千鳥の特徴。
(あえて、「すきま」を作るように
しないでOK！)

2. 段が増える度に、スペースが埋まる。
残りのスペース(★と■)を気に
しながら刺す位置を調整する。

ジグザクかがり

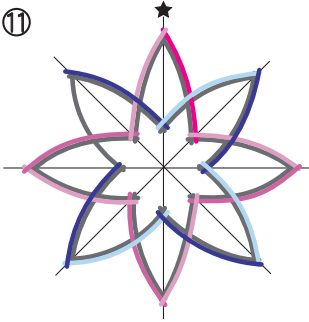
【上掛け千鳥】



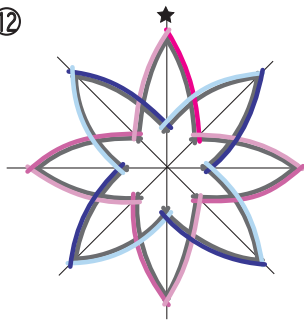
ジグザクかがり

【上掛け千鳥】

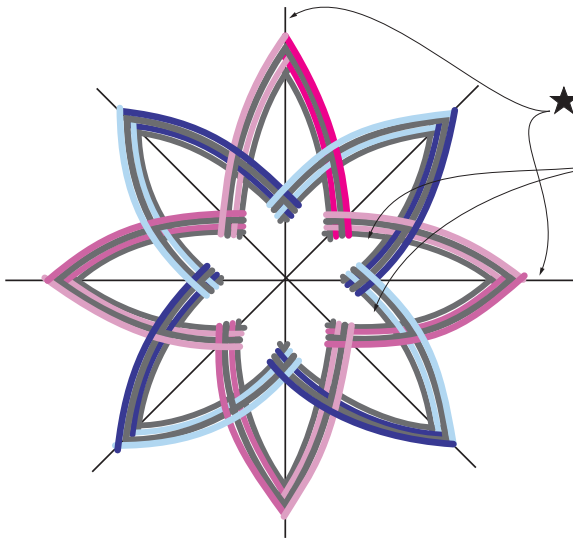
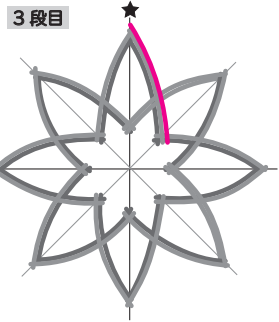
⑪



⑫



⑬



段が増える度に、
スペースが埋まる。
残りのスペース(★と■)
を気にしながら刺す位置
を調整する。

すべての先端がゴールまで、
同じ段数で届くようにするには、
縫う位置を微妙に調節する。

【好みの形をつくる方法】 3段目から、花びら先端で調整する。

1. 糸を作りたい曲線や
曲線に置いてみる。

針を刺す位置

2. 1 で作った糸の線と
分割線がクロスする位置
(交点●)を確認する。

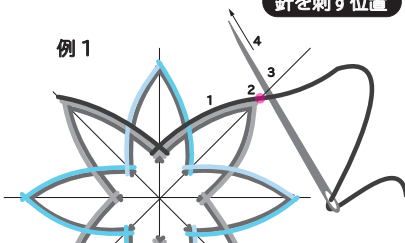
針を刺す位置

3. 交点の2,3mm上を
に針を入れる。

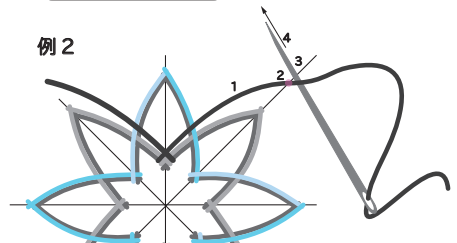
針を刺す位置と角度

4. 針を上からグッと抑え、
糸を引くと1. で作った
形をキープできる。

例1



例2

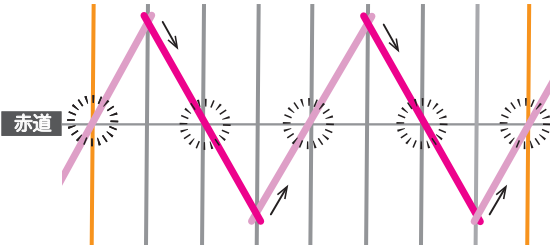


ジグザクかがり

【上掛け千鳥・下掛け千鳥 + 上下同時かがり】

①

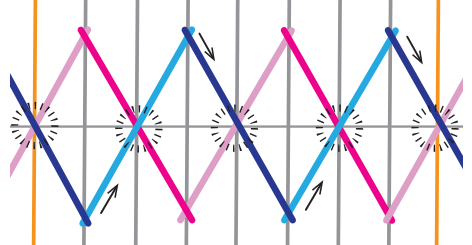
北極(上)



南極(下)

②

北極(上)

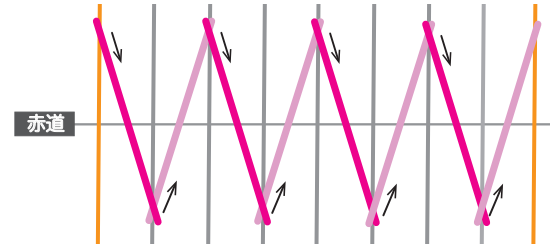


北極(上)

赤道上でクロスする場合

①

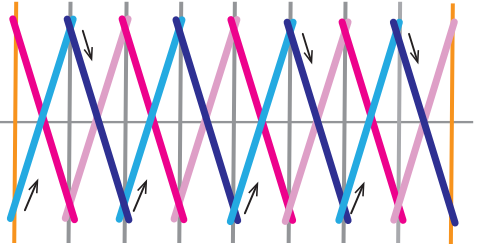
北極



南極

②

北極



南極

赤道上でクロスしない場合

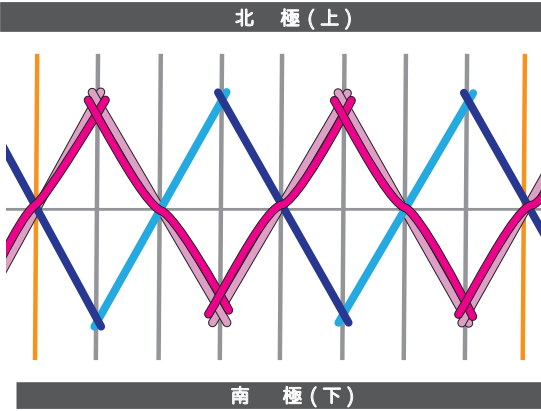
メモ

手まり模様の配置#1▷上下同時かがり

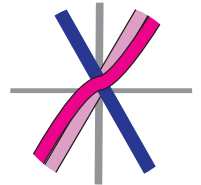
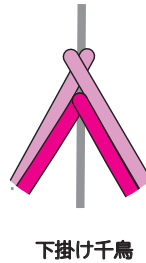
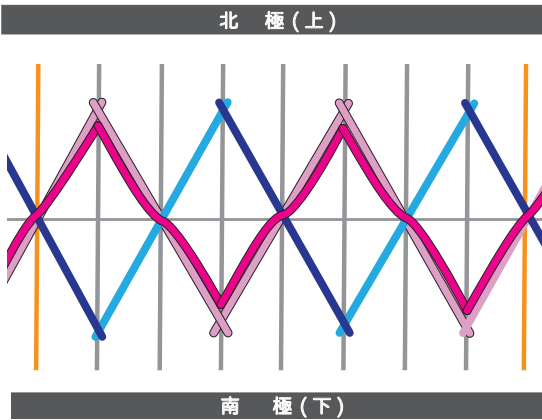
ジグザクかがり

【上掛け千鳥・下掛け千鳥 + 上下同時かがり】

③ 上掛けの場合



③ 下掛けの場合

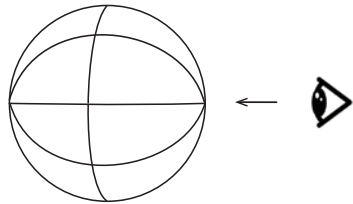
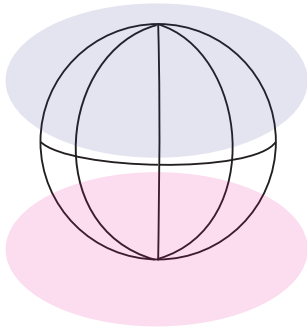


手まり模様の配置# 1▷上下同時かがり

手まり模様の配置

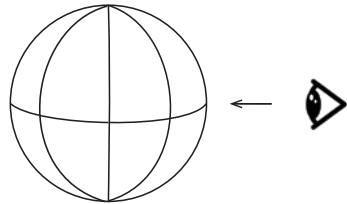
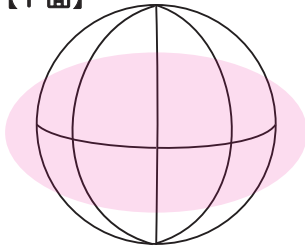
球体の面について - ①

【2面】



「北極」と「南極」の2面をつかう場合、極点から見てつくと、模様全体のバランスを確認しながら、をつくることができる。

【1面】



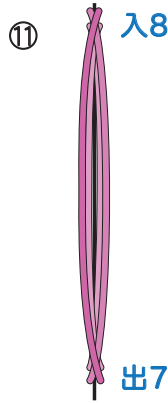
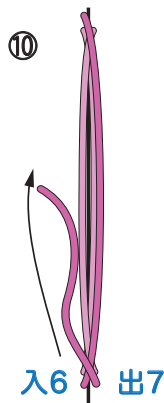
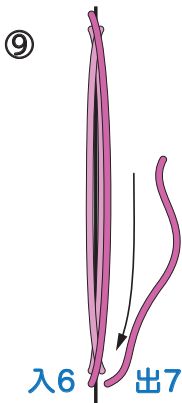
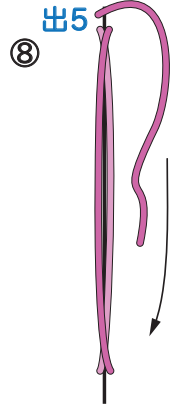
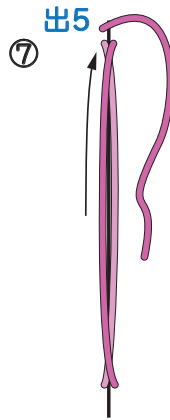
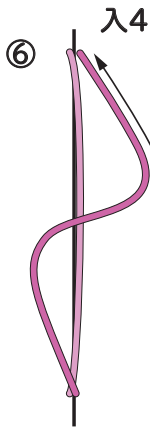
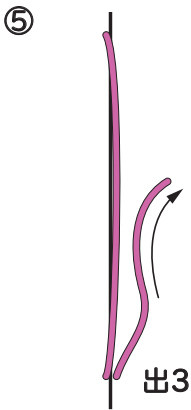
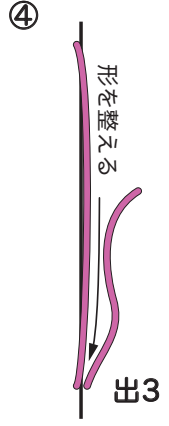
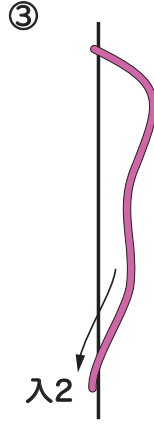
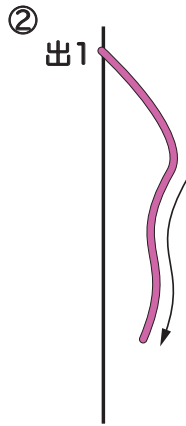
上下同時かがりなどは、「赤道のまわり」の1帯をつかうが、結果的に「北極」と「南極」の2面にも模様が浮かびあがる。
上記に比べると作業時間が早いところが利点。

メモ

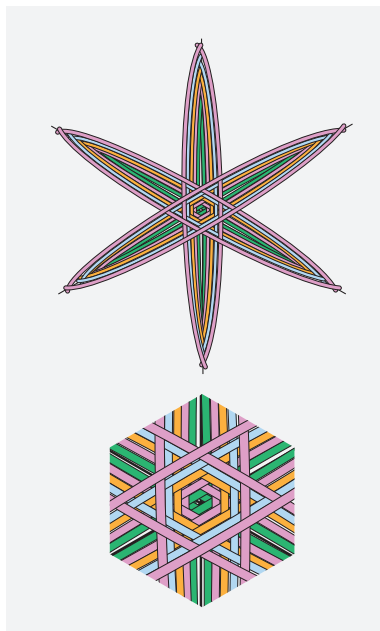
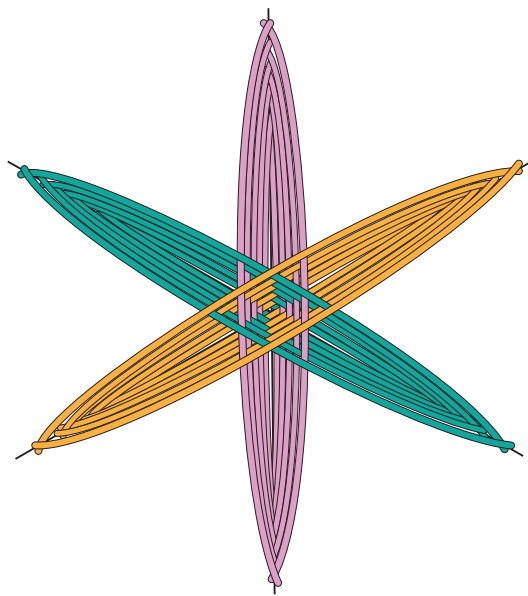
紡錘形

① 出5 ● 入8
出1 ● 入4

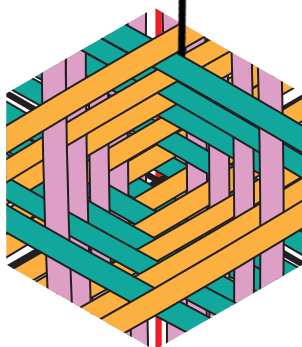
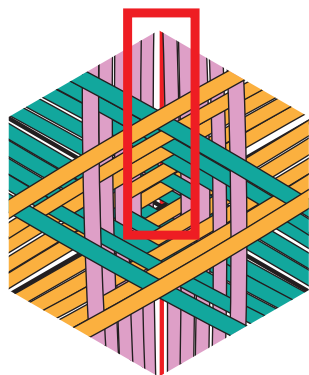
入2 ● 出3
入6 ● 出7



紡錘形

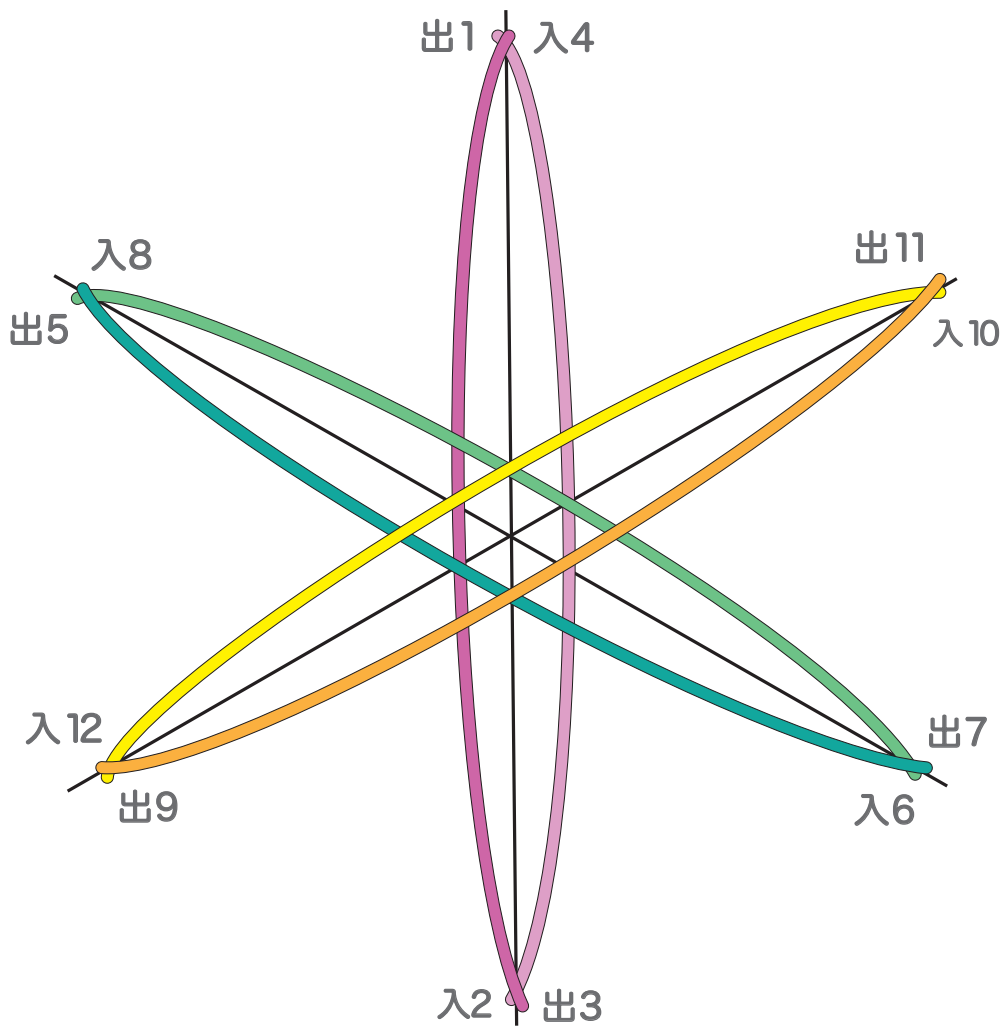


中心に出来る六角形
をきれいにさせる方法。

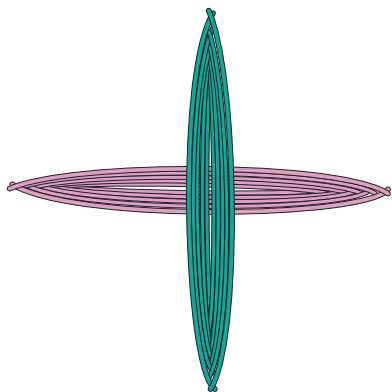
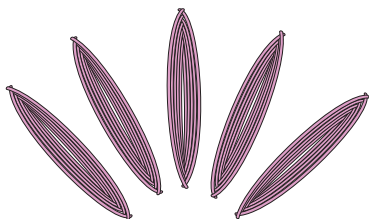
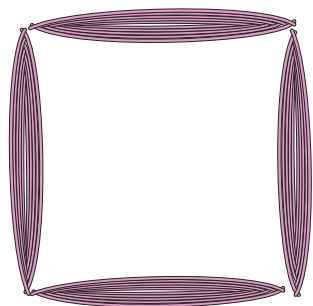
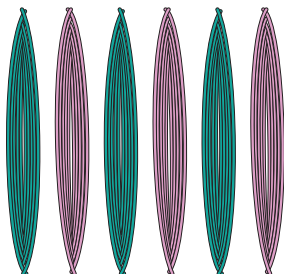
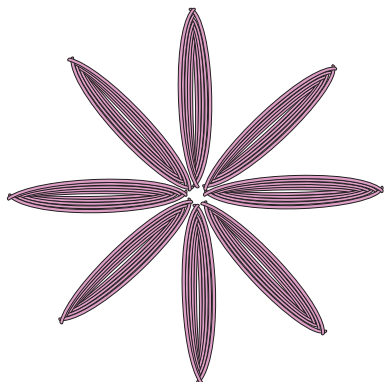


緑の糸の下**だけ**に
針を入れて、緑と
黄色の重なりを
分割線の上に揃える

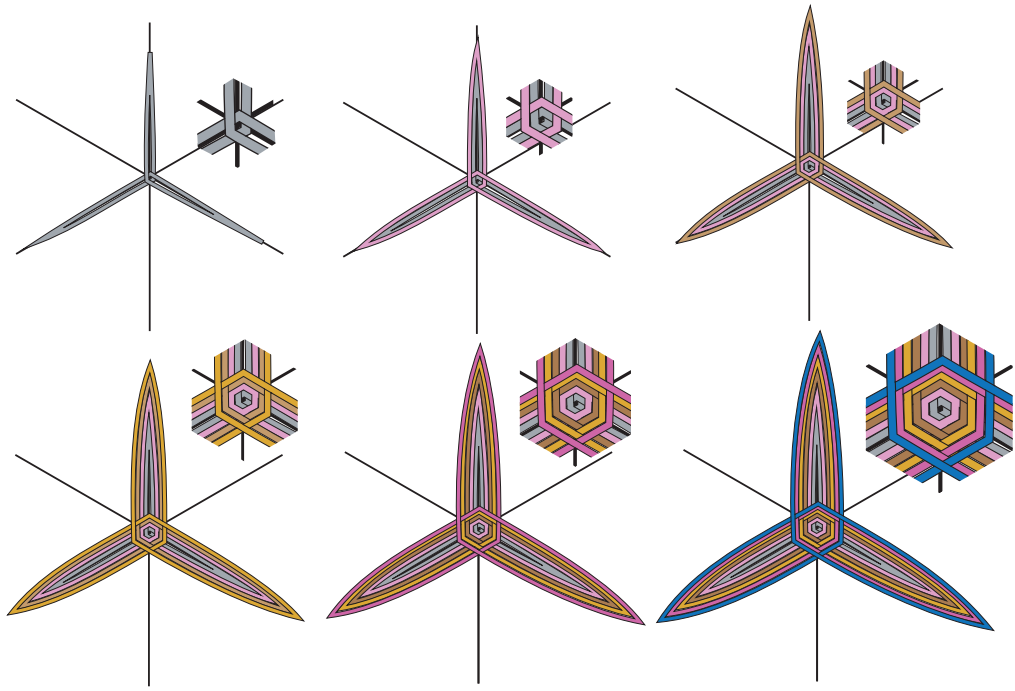
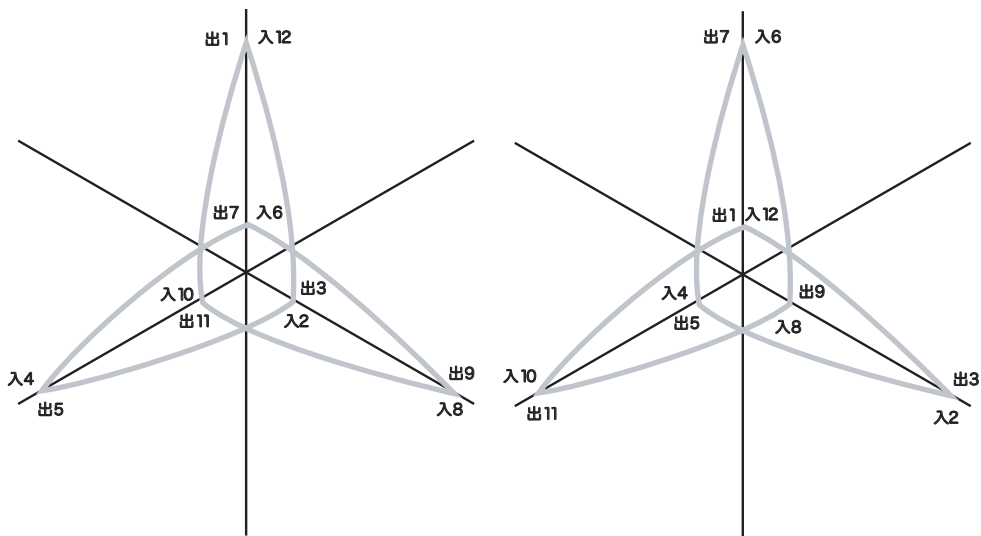
紡錘形



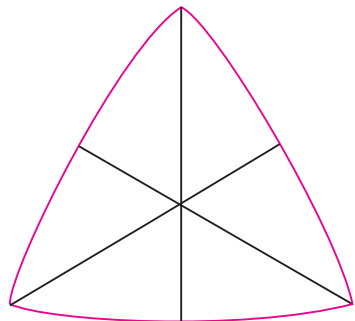
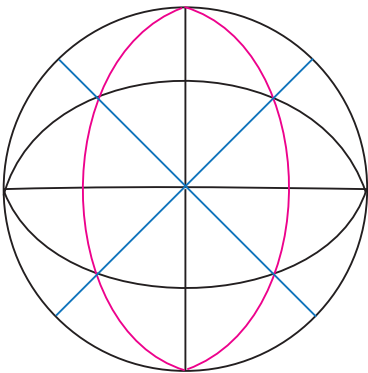
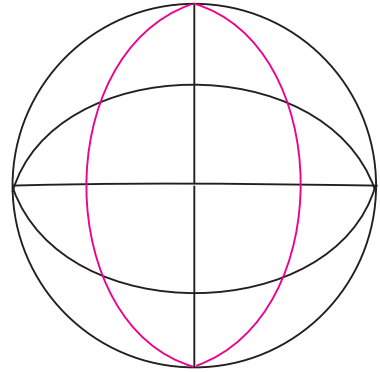
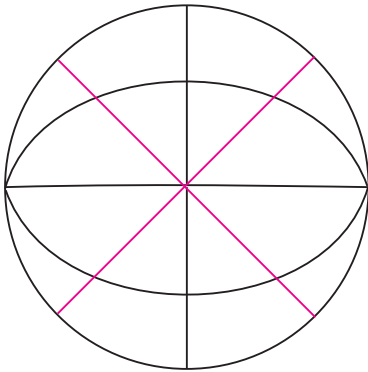
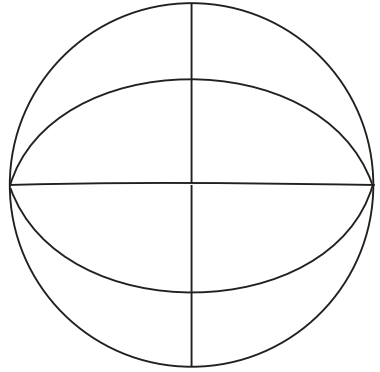
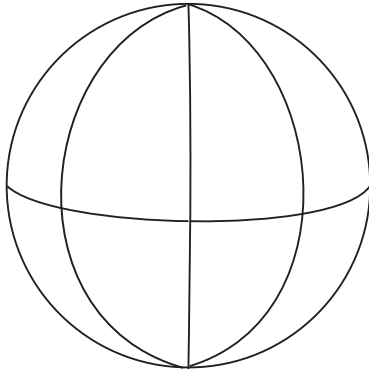
紡錘形



三羽根亀甲 I



8等分の組み合わせ



三羽根亀甲 II

